

理化学用
ガラス

接手管・栓

ピーカー・
フラスコ

セパラブル

試験管・
沈殿管

連結管

受器

トラップ

分留管・
冷却器公定分析
(JIS)公定分析
(衛生試験)公定分析
(局方他)公定分析
(ガラス部品)

カラム

分液ロート・
ガラスロート

ろ過器

メンブレン
フィルター

びん

デシケーター

培養容器

粘度計

体積計に
ついて

ピペット

メスシリンダー・
メスフラスコ

ビュレット

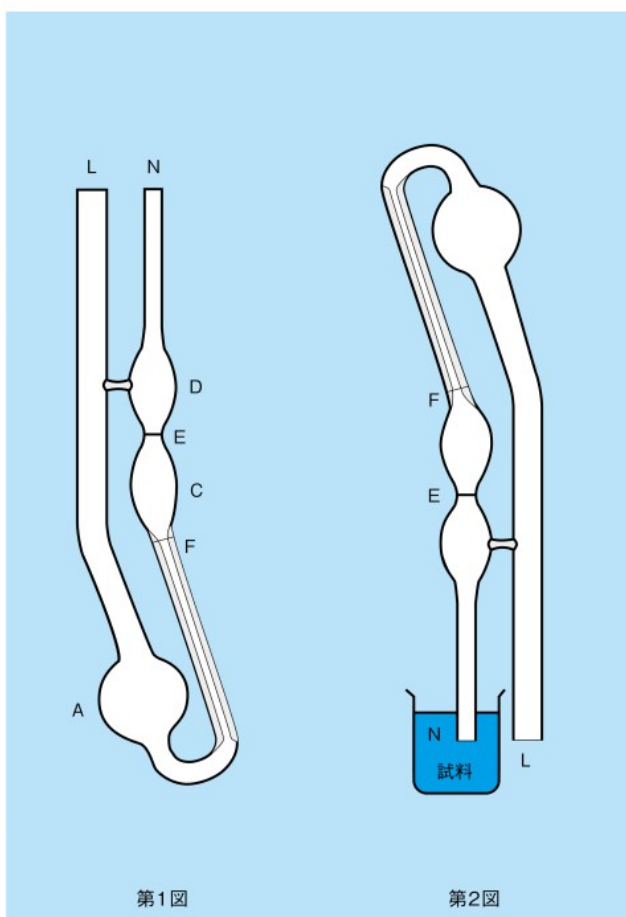
分注器一覽

ハンディ
ピペット

卓上型分注器

実験用
補助器具

キャンノン・フェンスケ (SO)



第1図

第2図

粘度計 キャンノン・フェンスケ (SO) SIBATA®

Viscometers, Cannon-Fenske, calibrated certificate, borosilicate glass, JIS

JIS K2283を参考に製造しています。

一定量の試料(標線EとFとの間の体積)が毛細管を流出する時間を測定して粘度を求めるもので、とくに少量の試料の動粘度測定に適しています。動粘度0.5~20000mm²/s [cSt・センチストークス]を測定できるよう、12種類があります。(定数表付)

この粘度計は、傾きによる誤差を少なくするため、測時球と試料だめ球の中心が同一中心軸上にくるようになっています。この粘度計は一般に広く使用されています。



品目コード	粘度計番号 No.	粘度計定数(概略値) mm ² /s ² [cSt/s]	動粘度測定範囲 mm ² /s[cSt]	価格¥SE
026110-0002	25	0.002	0.5~2	31,000
-0004	50	0.004	0.8~4	31,000
-0008	75	0.008	1.6~8	31,000
-0015	100	0.015	3~15	31,000
-0035	150	0.035	7~35	31,000
-01	200	0.1	20~100	31,000
-025	300	0.25	50~250	31,000
-05	350	0.5	100~500	31,000
-12	400	1.2	240~1200	31,000
-25	450	2.5	500~2500	31,000
-8	500	8	1600~8000	31,000
-20	600	20	4000~20000	31,000

■選定方法

- ①粘度計は流出時間が200秒以上、(ただし粘度計番号25のキャンノン・フェンスケ粘度計は250秒以上)、1000秒以下になる粘度計を表から選んでください。
- ②409ページの参考例-1、参考例-2をご参照ください。

【測定方法】(JIS K2283を参考)

- ①粘度計を第2図のように逆さにして管Nを試料中に挿入し、管Lより吸引して、試料を標線Fまで満たします。
- ②粘度計をすばやく第1図のようにもどし、管Nの外側の試料をふきとります。試料は流出して試料だめ球Aにたまります。
- ③粘度計を恒温槽に入れます。このとき、粘度計は試料だめ球A、測時球C、上部試料球Dの各中心が同一垂直線上になるように設置し、試料が試験温度になるまで静置します。
- ④管Lから加圧または管Nより吸引して試料の上方液面がEより約5mm上方にくるようにします。
- ⑤試料を自然に流下させ、EからFまでの流出時間を0.1秒のけたまで読み取ります。なお流出時間が200秒未満(ただし粘度計番号25番では250秒未満)、または1000秒を超えた場合は、粘度計を取り替えて①からの操作を繰り返します。計算方法については、JIS K2283をご参照ください。

※カタログ品名の末尾や製品に材質マークを入れております。材質マークについては280ページをご参照ください。